

会 議 録

会 議 名	平成 29 年度第 1 回野田市青少年問題協議会
議題及び議題毎の公開又は非公開の別	1 平成 29 年度教育委員会の事業（青少年健全育成に関する取組）について（公開） 2 平成 30 年度青少年健全育成の取組について（公開） 3 その他（公開）
日 時	平成 30 年 2 月 27 日（火） 午前 10 時から午前 11 時 35 分まで
場 所	野田市保健センター 3 階 大会議室
出席委員氏名	会長：高橋保 副会長：東條三枝子 委員：飯塚祐子、齋藤敬子、白井英雄、野口京子、藤咲順美、横川しげ子、桑原辰夫、小松一正、岡田宏之、眉山俊敬、坂本泰啓、石川和重、佐藤秀夫、伊藤ひろみ、高瀬麻美
欠席委員氏名	山本由紀子、富田修一、林茂、飯塚亮一、赤澤妙子、鈴木洋子
事務局	鈴木有（市長）、杉山一男（教育委員会生涯学習部長） 伊藤公夫（教育委員会生涯学習部次長（兼）社会教育課長） 横島司（青少年課長（兼）青少年センター長） 小田芳司（青少年課長補佐） 相澤和子（青少年課長補佐（兼）青少年係長） 藤井敬子（青少年課主任主事）
傍 聴 者	無し
議 事	第 1 回野田市青少年問題協議会の会議結果は、次のとおりである。
小田青少年課長補佐	<p><開会></p> <p>平成 30 年 2 月 27 日（火）午前 10 時 00 分、会議に先立ち、参集の御礼を申し上げた後、会議資料の確認を行った。続いて、会議の公開及び傍聴並びに会議録の作成及び会議資料等の公開について説明をし、さらに、出席者数の報告を行い、会議が成立していることを報告した。</p> <p>その後、会議の開会を宣言し、開会となった。</p>
高橋会長	<p><会長挨拶></p> <p>年度末の忙しい時に御出席いただきまして、ありがとうございます。今週の日曜日に冬のオリンピックが終わりまして、昨日選手団が帰国したようでございますが、日本の若い選手たちが非常に活躍したなという印象を持ちました。そして、選手たちの言葉の中に、「周りの人達に支えられて」という言葉が非常に多く聞かれました。</p>

<p>高橋会長（議長）</p> <p>横島青少年課長</p>	<p>る取組）について（公開）</p> <p>それではこれから議事に入りたいと思います。最初に平成 29 年度の教育委員会の事業について事務局から説明をお願いいたします。（議題 1 についてパワーポイントを使い説明）</p> <p>今年度の地区別懇談会の開催状況について説明。中学校区単位で連携体制が整った自主組織をもつ地域（北部・南部）については年 2 回実施したが、市が主な役員を招集し開催する地域の地区別懇談会については、各地域とも年度始めは総会、役員会等で忙しいこと、また、それぞれの団体において役員が決定するまで相当の時間が掛かり懇談会開催の日程調整も難しかったことから、秋の年 1 回の実施にとどまったことを説明。また、来年度以降も、年度当初の地区別懇談会は行わず、毎年 2 月に開催される問題協議会で決定した来年度のテーマについては、年度末の 3 月中に地域の役員の皆さんに文書でお知らせし、役員が変わられる地域については、新役員にそれを引き継いでいただき活動に努めていただくことで対応することとし、中学校区単位の情報交換、意見交換は秋に実施することを説明。</p> <p>次に、平成 29 年度に実施した下記事業活動状況についてパワーポイントを用い報告した後、30 年度も引き続き各事業を実施する旨を説明するとともに、更なる御支援、御協力をお願いしました。</p> <p>オープンサタデークラブ</p> <p>青少年柔剣道大会</p> <p>子ども釣り大会</p> <p>こどもまつり</p> <p>少年野球教室</p> <p>ふるさと伝承講座</p> <p>親子映画会</p> <p>ジュニアリーダー養成講習会</p> <p>非行防止のための街頭補導</p> <p>環境浄化活動</p> <p>子ども安全情報の配信</p> <p>情報モラル講演会</p> <p>家庭教育学級の開催</p>
<p>高橋会長（議長）</p>	<p>ありがとうございました。今、事務局から説明がありましたけれども、多岐にわたっておりますので、どの項目からということではなくてどこからでも結構でございます。何か御意見、御質問等ございましたら、お願いいたします。</p>

白井委員	聞き逃したと思うのですが、「青少年の非行防止及び環境浄化活動の推進」の中で補導件数が出されておりましたが、この男子が18、女子が11、合計29名が補導されていると記載されておりましたけれども、この主たる原因は何なのでしょう。
横島青少年課長	補導といいましても、これは警察の方で連れていくといったものではなく、うちの方で街頭パトロールをしている中での補導活動ということでの補導ですので、基本的に一番多いのが、自転車の二人乗りとか、自転車に乗りながらスマホを行うとか、そういった自転車関係のものでございます。
鈴木市長	要するに声掛けですね。青少年補導員等による声掛けの件数だと思います。青少年補導員は声掛けしかできませんから、言葉遣いが少し違うかもしれませんね。学警連とかでは、いわゆる補導をしているかもしれませんが、青少年補導員が行う補導は、そういった現場を見たとき、それをやめなさいというような声掛けが主ですよ。
横島青少年課長	市長が言ったとおり、青少年補導員の補導というのはあくまで声掛けなので、警察に連れて行ってどうのこうのというものとは違い、その事前の声掛けということです。
白井委員	補導件数としては、少ないということですね。
横島青少年課長	減っているのは、子どもの少子化の影響とかもあると思います。
白井委員	この程度ならさほど多くはないですね。
横島青少年課長	毎日のパトロールも、抑止力になっているのだと思います。
高橋会長（議長）	言葉の使い方そのものについては、今後検討していただいて、来年度から変えるとか、補導というのと声掛けというのとでは大きな違いがあるように思いますので、今後検討させていただきたいと思います。
	件数的には、先ほどありましたように、昨年度よりも大幅に減っているということですので、その辺については今の子どもたちが、規律正しい生活をしているのか、あるいは逆に家庭での指導がしっかりしているのかということも言えるのかもしれません。そのような状況でございますので、この点については、よろしゅうございますか。
	ほかに何かございませんでしょうか。
	齋藤委員さん、お願いします。
齋藤委員	家庭教育の講演会を各地区で実施されていらっしゃるけれども11回で178人であるとか、46回で5,777人であるといった数字はありますけれども、実際に1回の講演で何人の方がいらっしゃるのか、どういったことをお話されているのか教えてい

伊藤社会教育課長	<p>ただきたい。</p> <p>家庭教育学級ですけれども、先程説明にありましたように、小学生の保護者を対象としたものにつきましては、八つのコースに分けておりまして、一つのコースにつき大体5回ぐらいの講座を実施しています。一例を申し上げます。</p> <p>今年度、中央小学校、清水台小学校、宮崎小学校を対象として中央公民館で開校したところでは、全部で6回の講座を開設いたしまして、講演として「家庭における学習習慣のつけ方」、それから「情報モラルを身に着けよう」「みんなで朗読のコツをマスターしよう」というようなものを行っておりまして、出席者は30名から40名。それから学校を会場として行うものもございまして、そういう場合は、400名近い開催をしております。</p> <p>このほかに、小学校入学前の就学健康診断のとき、時間的には子どもたちが健康診断を受けているときに、保護者の方に、入学するまでの心構えですとか、そういったものをお話させていただく機会を頂いております。</p> <p>中学校では保護者会等で保護者の方が学校に来る機会に、やはり講演会をやらさせていただく時間を頂いております。どうしても、連続講座ですとなかなかお出でになれないという御家庭がありますので、学校で集まりのある時に、こちらから出向いて話をさせていただくというような形の二本立てで、講座の方をやらせていただいております。以上です。</p>
齋藤委員	<p>今、小学校対象の連続の講座について話をされ、三つの題材で講義なさっていると伺いましたけれども、学習とか情報とかそういったものも必要でしょうけども、一番学校では早寝、早起き、朝ごはんそれから挨拶とかをテーマに、小学校、中学校はやってらっしゃるようですので、家庭教育学級でもそうしたことをやる必要があるかと思うのですが、そういうところも含めた講義などはなさってらっしゃるのでしょうか。</p>
伊藤社会教育課長	<p>まず、早寝、早起きについては、就学時に、学校に入る前に身に付けていただきたいというようなことで、その段階でやらせていただいております。それから、先ほど小学校のコースでお話させていただいたのですが、それ以外に幼児、3、4、5歳時の保護者を対象とした幼児コースというのを野田地域で1コース、関宿地域で1コース開設していただいております。やはりその中で、幼児の生活習慣ですとかそういうものについて講座を開設させていただいております。</p>

齋藤委員	<p>なお、小学校コースにつきましては、各学校から保護者の方、運営委員という形で出ていただきまして、今実際どういう悩みがあるのか、どういう話が聞きたいのかというものを、各運営委員さんの方から出していただきまして、それで事業を組み立て実施させていただいているところです。</p>
高橋会長（議長）	<p>オリンピックが終わりまして、いろいろと日本人の心が世界中に飛びわたって多くの人達が感動を受けている状況を見ますと、やはり学校の生徒さんたちにもああいう心を持ってもらえるような、そんな環境になったらいいなと思っています。人を思いやるやさしい心、そういう心の育て方は、やはり学校の先生だけがやるのではなくて、やはり家庭でも、そういった心を育む生活環境が増すよう努力することが大事じゃないのかなと、そういった講座事業をよろしくお願いします。</p>
齋藤委員	<p>今後、そういうことも加味していただければということでございますが、担当の方といたしましては、幼児コースから始まりまして小学校入学前、小学校に入った後の定期的な講座、そして小学校に入ってから保護者を代表した講座もありますね、そして中学校でもあるということでございます。回数的にはいろいろな機会を設けられているようではございますが、実際にはお集まりになる保護者の皆さんの顔がだいたい似てしまうというような、そういった傾向もあるようで、担当の方はいろいろな機会を捉えてそういう話をしていきたいという風な努力はしているようでございます。その辺はお知りおきいただきまして、今後、また今要望があったようなことも含めて検討していただければというふうに思います。よろしゅうございますか。</p>
高橋会長（議長）	<p>はい。</p> <p>ほかにはいかがでございましょうか。</p> <p>よろしゅうございますか。それではないようでございますので、次の議題の方に入らせていただきたいと思います。</p>
高橋会長（議長）	<p>議題2 平成30年度青少年健全育成の取組について</p> <p>平成30年度青少年健全育成の取組について事務局の方から説明をお願いいたします。</p>
横島青少年課長	<p>（議題2についてパワーポイントを使い説明）</p> <p>始めに、平成30年度の青少年健全育成に向けての取組案を決定するに至るアプローチ方法、そしてテーマが決定した後の地域等への協力要請について説明をした。</p> <p>次に、策定の核となる地区別懇談会で出された意見、実施された</p>

<p>高橋会長（議長）</p>	<p>活動内容について報告した。</p> <p>さらに、今年度新たに出された意見を洗い出し、平成30年度の取組として追加することあるいは削ることはないか改めて見直した旨報告し、30年度の活動内容及びテーマ案を説明した。</p> <p>はい、ありがとうございました。先ほど御説明のありました内容につきまして、まず、テーマにつきましては、今年度と同様ということですが、その点について何か御意見、御質問等ある方、いらっしゃいますでしょうか。</p> <p>それでは特に御意見もないようでございますので、テーマについては今年度と同じテーマで来年度も進めるということで、御了解いただきたいと思います。ただ、その推進の内容について付け加え等も先ほど説明の中でございました。何か、御意見、御質問ございましたらお願いいたします。</p>
<p>齋藤委員</p>	<p>新しいテーマは、家庭が含まれていますので良いと思いました。私の質問は、学校や生徒さんだけではなくて家庭も入って、三者が一つにならなくては、ああいったことはできないと思いますので、家庭を含めたことが、とても良いと思っております。</p>
<p>高瀬委員</p>	<p>私は、平成14年のオープンサタデークラブが始まった当初から、バドミントンを指導しているのですが、青少年の健全育成の取組について、少し意見を述べさせていただきます。</p> <p>サタデークラブはその対象が小中学生となっておりますが、ほとんど中学生の登録はありませんし、来ることもありません。というのは、学校の部活動と重なるということ、保護者の送り迎えが原則というところが、引っかかっているのだと思います。</p> <p>私が監督するところには、以前中学生が何人か通っていたのですが、電車とバスを乗り継いで来ているということが分かり、保護者の方に連絡をとって送ってくれるようお話ししたところ、それ以降、ぱったり来なくなったということがありました。</p> <p>また、中学生は部活の事情も鑑みて参加しにくい状況にあるといったところもございました。</p> <p>そうした中、この資料を見て分かったのですが、川間中学校さんでは、体験活動として土曜授業のボランティアに参加されているということで、中学生が、クラブ活動には参加者として、授業の方にはスタッフとして参加できている可能性があるのなら、オープンサタデークラブも中学生、あるいは高校生も含めてスタッフとしてお手伝いをするという参加の枠組みの方向に変えることもできるのではないかと考えます。今実際にやっています、子ども</p>

	<p>たちの参加数は年々増えています。欠席もしなくなってきたので、実際の活動としてもすごく定着してきているのですが、私たちスタッフ側としては、講師を毎回確保するのがとても大変です。子どもが多い時は、60人、80人になる時もありますが、スタッフは3人しかいなかったというときもありとても運営に苦労しています。</p> <p>そんな状況もありますので、サタデークラブにも異年齢の交流ということで、クラブ活動をしている中学生、高校生がスタッフとして参加できるようなシステムができれば交流も図れていいのかなと思ひ、提案させていただきます。</p>
高橋会長（議長）	<p>今、スタッフということがありましたので、今日、学校教育部長が参加しておりますので、学校の実情についてははっきり把握していないかもしれませんが、分かる範囲で答えさせていただきます。</p>
桑原学校教育部長	<p>土曜授業の基本的なことについて申し上げますが、土曜授業は、オープンサタデークラブと違ひまして、学校の教育活動の中のものとして、正規の授業としてやらせていただいておりますので、市内小中学校の児童生徒の全てが参加しているという状況でございます。そこに、土曜授業の時だけ、謝金を出させていただきますながら、土曜アシストという方にお来しいただき、細かい授業を実施しています。</p> <p>これとは別に、学校の場所にもよりますが、高校生のボランティアという形で、土曜授業に参加をいただいている小中学校もございます。これについては、高校生が通えるところということがございますので、こちらについては全部の小中学校ではございませんけれどもそういったスタッフがついていることは確かにございます。以上でございます。</p>
高橋会長（議長）	<p>土曜授業については、授業という事で全児童生徒が出席、これが基本だということでございます。</p>
高瀬委員	<p>ここに中学生がボランティアとしてとなっておりますけれど、</p>
高橋会長（議長）	<p>川間中ですか。</p>
桑原学校教育部長	<p>土曜授業とオープンサタデークラブは同じ土曜日でも、第2、第4が土曜授業、第1、第3がオープンサタデークラブと区別しておりますので、土曜授業につきましては、実際に授業に出ておりますので、スタッフで行くということは、まずありえないかなと思ひています。オープンサタデークラブの時には、もしかしてあるかもしれませぬ。</p>
高瀬委員	<p>資料2の5ページに体験活動として川間小、尾崎小の土曜授業にボランティアとして行っているとなっているので、土曜授業がある</p>

横島青少年課長	<p>時に中学生が小学校に行っているのではないのですか。</p> <p>5 ページの上から二つ目の意見、これはですね、川間中学校区で地区別懇談会を実施したときのものでして、今回初めて地区の高校ということで西武台の校長先生に来ていただいたのですが、そのとき西武台の校長先生から出た意見でございます。</p>
高橋会長（議長）	<p>これは、西武台高校の生徒が土曜授業をやっているときに、川間小、尾崎小に行ってボランティアをやっている、授業補助をやっているということですね。よろしゅうございますか。</p>
高瀬委員	<p>分かりました。西武台は第2、第4が休みですから授業がないですからね。</p>
高橋会長（議長）	<p>ほかに何か御意見ございませんでしょうか。</p> <p>それでは御意見がないようでございますので、事務局の方から提案のありました形で、来年度のテーマにつきましては決定させていただきたいと思えます。</p> <p>なお、このテーマにつきましては、先ほども説明がございましたように、これから地区におろしていきますので、またいろいろな形で地区の皆さんに御協力いただくことになろうかと思っておりますが、どうか説明の方よろしくお願ひいたします。</p> <p>また、各地域での今後の経過につきましては、次回のこの協議会で御報告をさせていただきたいと思えます。</p> <p>それでは、来年度のテーマにつきましては皆様に御了承いただいたものとして終了させていただきます。</p> <p>続きまして、その他でございますが、何かございませうか。</p>
横島青少年課長	<p>（平成29年度野田市子ども安全情報について説明）</p> <p>今年度は、露出の事案が多い。25件中13件が露出であった。詳細については後で御覧いただきたい。</p>
高橋会長（議長）	<p>ありがとうございました。ほかにございましたらお伺ひしたいと思えます。</p> <p>それでは、せっかくの機会でございますので、今日は小中学校の校長先生も委員としてお見えになっております。挨拶運動、こういうものについてどのようになされているのか、その辺の状況について簡単に説明させていただければと思えますが、校長先生方お願ひできますでしょうか。</p>
眉山委員	<p>挨拶運動については、学校内では子どもたちを中心に随分やっているのですけれども、先ほどありましたが、なかなか地域内では難しい部分があって、やはり不審者がいるので下手に挨拶ができないということがあるため、大変難しいのですけれども、ただ今年、学</p>

校を変わりまして感じているのは、全くできない子もいるんですね、自閉気味の子もいますから。叱るのではなく、褒めることで挨拶を高めていこうということをしています。また来年度、市の方から、東京オリンピック、パラリンピックを盛り上げようという事業に協賛しないかという話を頂きまして、引き受けさせていただいておるわけですが、小学校でも外国語活動等が入ってきてまして、各国の挨拶を勉強したりするわけです。そういうものも全体で取り上げて国際感覚を身に付けながら盛り上げることができないかなというようなことも考えているところです。

挨拶と少し違うのですが、現状として、今、利根川沿いの学校は非常に人口が減っていて、江戸川の方に寄ってきている部分がありまして、うちの学校あたりも実は今年度だけで33人の編入があります。やはり、先ほどから出ていますけれども、家庭的に難しいうちがあって、先ほどの話の中で家庭でも教育といったお話があったのですが、今年度非常に驚いているのは、授業参観には教室に入れないほどお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんに来てくれるのですが、その後の学級懇談となると、参加者がいなくなるのです。24学級あるのですが、一人も残らなかったという学級もありまして、こうしたことは初めてです。それから、小学校は全体会をあまりやらないです。中学校は必ず進路指導やら何やらで、保護者を集めて面談をしますけれども、小学校はないです。児童数750人いますけど、PTA総会に出席するのは十数人です。本当にそういう意味では、家庭に対してこちらからアピールするのは難しいと思っています。先ほど、家庭教育学習のお話も出しましたが、あれは実は、小学校側で、PTAの役員としてその担当を決めているのです。ですので、話がありますとその人たちが来るのです。ほかは来ません。当然、学校に関心意欲のある方が少し残っていただけののですが、残ってほしい人は残らないというのが問題です。そこら辺が非常に困っているところではあるのですが、特に小学校低学年に問題を抱えた子が多くて、市の教育委員会や児童家庭課、医療機関、柏の児童相談所等いろいろお世話になっているところです。やはり学校の中だけでは教育できない、地域の方や家庭の方の御協力を頂きながらやるしかないだろうなと考えておりますので、是非また御協力を頂ければ有り難いなあと考えております。

岡田委員

お陰様で中学校全般としましては、大変穏やかな生活をしている子が全般的には多いという状況でございます。先ほどからありますように、私も福田中学校に10年ぶりに戻ってきたところで、自分

<p>高橋会長（議長）</p> <p>小田青少年課長補佐</p>	<p>の学区について改めて見てみますと、10年前より二極化が進んだなど、手に取るように実感しているところでございます。福田地区では、福田一小さん、二小さん、二ツ塚小さん、全てが福田中学校に上がってくるという状況がありまして、つまり4校で連携して福田地区の子どもたちを育てていこうよという流れで、今、福田プロジェクトといって立ち上げております。その中で、一番に目玉にしているのが先ほどからあるように、挨拶、そしてもう一つが早寝、早起き、朝ごはんというところです。ちょっとショックだったのが、本校の朝ごはんの朝食欠食率がグンと上がっているという状況がありまして、学校課題としまして、全校挙げて取り組んだところ、何とか市平均レベルまでは持ち直したところではあるのですが、まだまだ予断が許せない状況の中で、今、プロジェクトの中で小学校や中学校の子どもたちの絵を集めて、一枚のポスターにして早寝、早起き、朝ごはんポスターという事で、各学校や地域の公民館とか様々な所に貼りながら啓発活動に努めているところです。挨拶につきましても、小学校の低学年、中学年、高学年、それから中学校と、発達段階に合わせて挨拶の程度を上げていこうよと、9年間の中で子どもたちをしっかりと育てていきたいと思いますというところで、今4校で足並みを揃えながら取り組んでいるところです。まだまだ成果というような目ぼしいものは上がっていないのですが、これから地区を上げて子どもたちの健全育成のために努めてまいりたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。</p> <p>長時間にわたりまして、御審議いただきまして大変ありがとうございました。これもちまして、議長の任を解かしていただきます。ありがとうございました。</p> <p><閉会></p> <p>午後11時35分、閉会を宣言した。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
----------------------------------	---